

森と木のクリエーター科

主な進路・就職先

AC CRAFT開業、大阪府立港南造形高等学校教員、雑貨工房kiitos開業、行灯工房開業、社会福祉法人青葉仁会・木工所、共育工房ippo開業、福祉器具制作・かて工房、工房「弥哉-やや-」開業、NPO法人ぎふ羽鳥ボランティア協会・木工所、NPO法人グリーンウッドワーク協会、(有)応用里山研究所、(株)地球環境計画、三菱マテリアル不動産(株)、NPO法人山里ファン倶楽部、(株)アウトドアサポートシステム(ODSS)、NPO法人しずおか環境教育研究会(エコエデュ)、NPO法人メタセコイヤの森の仲間たち、NPOこうじびら山の家設立、ホールアース自然学校、エコワークス東海自然学校、NPO法人国際自然大学校、(有)ローカルサポートアソシエイツ開業、NPO法人社の社学舎設立、新居森林組合、七宗町森林組合、恵那南森林組合、郡上森林組合、川又林業(株)、森のエネルギー研究所、関東森林管理局、中部森林管理局、山梨県都留市職員、京都大学生存圏研究所、東京大学農学部研究生

林業再生講座

林業は様々な問題を抱えて今日に至っています。しかし、世界・国内情勢から、我が国では木材自給率を高めることが必須の課題になっています。そのため、林業が抱える様々な問題を解決し林業を再生させなければなりません。

林業再生講座では、森林の動態を理解し、それをコントロールする技量を身につけ、販売価格に応じた収穫方法を適切に提案し、確実に木材の販売先を確保するという林業経営に必要な知識と技術を学びます。

人材目標

- 森林・林業施策に基づき、地域の林業を牽引することができる人材
- 独自に森林・林業マーケティングを行ない、個別林業経営を提案できる人材

山村づくり講座

森林は林業に加えて、水土保持や生物の生息地としての重要な機能を有しており、山村はこれらの森林の機能を維持して行く上で重要な役割を果たしています。

山村の活性が失われつつある現在、その機能の維持がままならなくなっています。そのため、山村を内と外から活性化していくことが求められています。

山村づくり講座では生活者として山村を内から活性化させる人材や山村の活性化に関するソーシャルビジネスを企画・提案できる人材、山村の生活文化や自然環境の継承・保全に貢献できる人材などの育成をめざしています。

人材目標

- 農林業等を実践することができるとともに、山村での居住に必要な技能・知識・姿勢を身につけ、生活者として山村の地域活性に寄与できる人材。
- 山村における暮らしを持続可能なものにするため、都市山村交流の促進・農林産物の商品化・山村暮らしの情報発信などによるソーシャルビジネスを企画・提案・実現できる人材。
- 「山村の生活文化」と「里山の自然環境」の豊かさを理解し、その継承・保全に貢献できる人材。

木造建築講座

日本の森林の有効活用として国産材の積極的な使用が呼びかけられ久しい。私たちはそんな社会の動向を配慮しつつ、人間の生活の場にふさわしい「木の建築空間」を創っていきます。

地域の木を使った木造建築の設計技術を習得するだけにとどまらず、地域の人々の住まい方をも調査する技術を活用することによって、山とまちをつなぐ木材と人のネットワークを構築し、地域に根ざした木造設計者として自ら起業し実践できる人材を育成していきます。

人材目標

- 山と町をつなぎ、地域資源の活用をくらしのなかで提案できる建築設計者
- 建築とくらしの関係を考慮しつつ住環境に適切に木を配置した空間が提案できる設計企画者
- 木材生産、木材流通、木材の品質基準について熟知し、ユーザーの要望を把握しながら既成の生産、流通、品質基準を再構築できる木材加工技術者
- 木造建築の構造特性を把握するとともに、地域の実務者へ技術支援ができ、住まい手の要望を取り入れた建築を提案できる構造技術者

ものづくり講座

ものづくり講座では手工具や機械を使い、暮らしの小物から家具に至るまでの木工全般を学びます。これからのつくり手には、森の恵みを生かし、伝統や文化も踏まえて新しい発想でものをつくる技術と、ものに込められた価値を分かりやすく伝える技術が求められます。

また木と触れ合い、豊かな暮らしや環境づくりを目指す「木育」と呼ばれる活動にも、木工技術者の活躍の場が広がっています。こうした技術を身につけ、社会の新しいニーズに応えられるものづくりを目指します。

人材目標

- 地域の文化や人、風土を生かした「木育」プログラムを組み立て、ものづくりの技術も用いて、「森と人をつなぐ」教育活動を展開できる人材。
- 地域の森から出る材料を生かして、地域の暮らしをよりよくするための木の製品の企画・デザインや制作を行い、「森とものをつなぐ」活動を展開できる人材。

